

まちネットワーク寄居

私たちから発信しよう 私たちのまちづくり

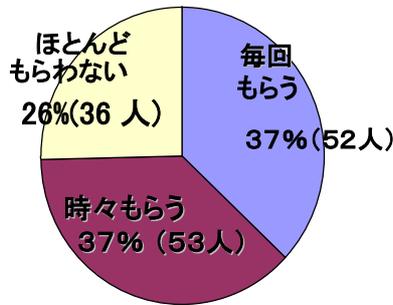
さあ 手をつなご!

まちネット 寄居通信『さあ 手をつなご!』はみなさんの支援力がエネルギー源

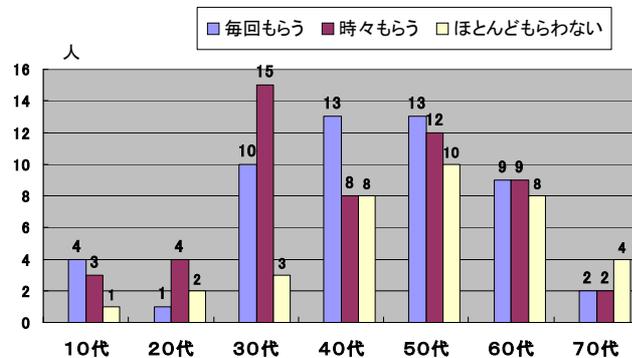
レジ袋あなたはどのようにしていますか?

調査結果報告

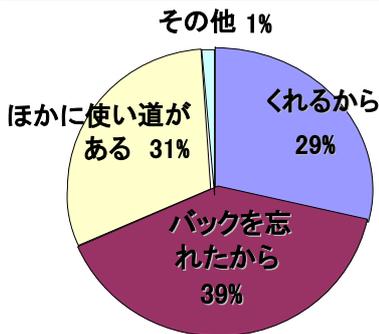
Q1. レジ袋をもらいますか? (全体)



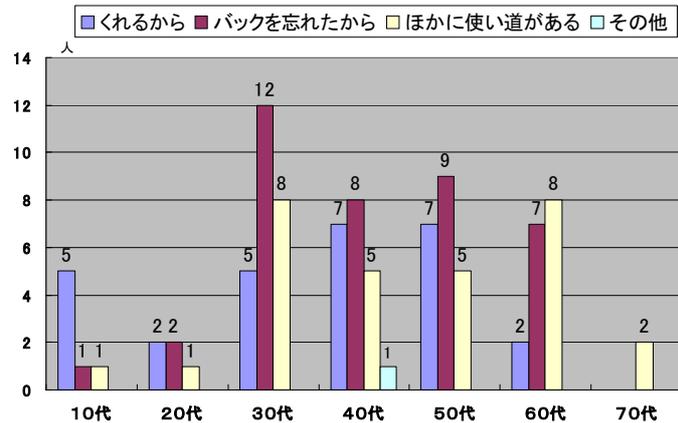
Q1. レジ袋をもらいますか? (年代別)



Q2. もらう理由は? (全体)



Q2. レジ袋をもらう理由(年代別)



2009 年6月より寄居町内でのレジ袋に関する調査に取り組みました。(回答数 140)

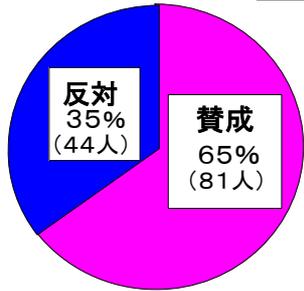
10代から70代の方々から回答を頂きました。グラフにあるようにレジ袋を買い物のつど毎回もらう、時々もらうはほぼ同数となり、ほとんどもらわないは25%と現状から見るとたいへん高い数値となりました。

これらの結果は、2007年度に実施された「容器包装3Rを進める全国ネットワーク」のレジ袋1万人アンケート結果とほぼ同様の結果といえます。が、今回の回答は、町内でもごみ問題に比較的意識の高い人たちが多く寄せてくれた感があります。

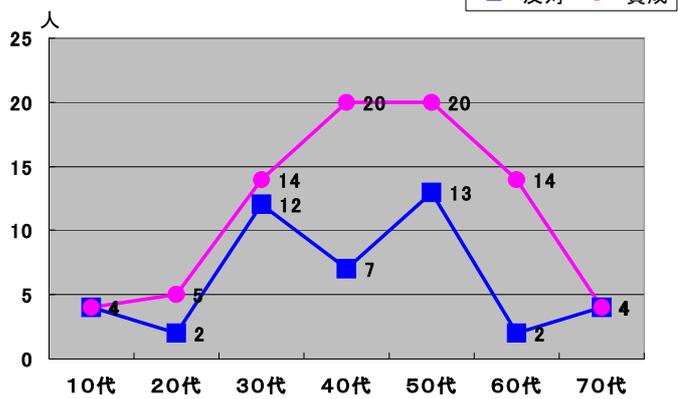
レジ袋の有料化に賛成する人の割合は年々増加しています。



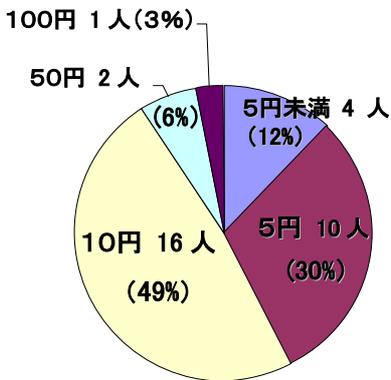
Q3. レジ袋の有料化は賛成ですか？
(全体)



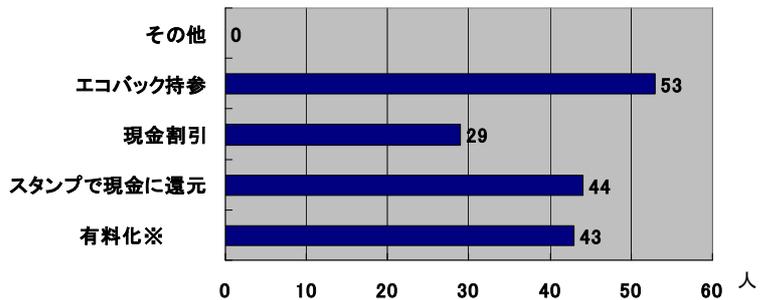
Q3. レジ袋の有料化は賛成ですか？



Q4. ※有料化の値段は？



Q4. レジ袋を削減するのに有効な方法は？ (複数回答)



2006年容器包装リサイクル法が改正されレジ袋削減が事業者に義務付けられました。全国的に事業者のレジ袋削減として、スタンプを集めて現金還元、ペイバック方式マイバック運動の呼びかけ、などいろいろな形で取り組んでいます。けれど総体ではエコバック持参の買い物客はまだ少数派の現状です。西東京市では有料ゴミ袋を各サイズ取り揃えて戸別回収を行なっています。有料ゴミ袋以外ではごみ出しができないため(一部指定外あり)、レジ袋も毎回は必要ない、日常生活の中で過剰包装も要らない、と削減に否応なしに動いています。また、福井市のスーパーでは、会計の際に意思表示する「レジ袋いりません」のカードではなく、マイバックを忘れた人用に「レジ袋いります」のカードが下げられています。買い物はエコバック持参が当たり前の生活、少し心が

温かくなりますね。そのほか、多くの自治体で事業者、市民団体と共に削減協定を作ったりしていますが、一進一退のところもあるようです。けれど一人でも多くのレジ袋辞退者を増やすための取り組みは今後も積極的に進めていかなければなりません。

暮らしスリムに心豊かに

地球温暖化を、誰もが実感として感じてきた今、ごみ減量、二酸化炭素の排出削減は地球規模での命題といえます。私達が今すぐできることはたくさんあります。面倒くさがらずにごみの分別、レジ袋辞退、まちネットで呼びかけている生ごみ減量のダンボールコンポストもその一つ。たかがレジ袋1枚、されどそれを断るだけで、二酸化炭素を50g(製造、ごみ焼却時排出)も削減できるのです。ちりも積もれば山となる。一人ひとりの暮らし方が変われば変わっていきます。と同時に容器包装リサ

イクル法の改正でレジ袋の有料化、拡大生産者責任など、実効力のある対策も不可欠です。

「レジ袋有料化は、使い捨てのシンボルであるレジ袋を削減する最も有効な手段です。このためレジ袋を有料化する市町村の数は県単位での実施を含めると、2010年3月末までに全市町村の4割強に達する見込みです」

容器包装の3Rを進める全国ネットワークニュースより

寄居町、ちょっと楽しすぎていませんか？

先進自治体のごみ減量への取り組みを見ると、私たちの寄居町が、分別からレジ袋でのごみ出し等々かなり楽をしていることを痛感します。ごみ処理にどれほど高額な税金が使われているか、もっともっと実感することも必要です。まずはレジ袋辞退、レジ袋でのごみの排出をやめるところから、始めませんか？

9月議会一般質問



9月7日定例議会に初めて傍聴参加した友人の感想第1声。「あれが議会?」「今後の傍聴はやめます。」と言われちゃった。眠くなると思っていた理由が分かった。確かにいつものことですが、質疑する議員も教科書を朗読しているようで、論争、突込みがまるでないといってよいほど。応答もなぜだめなのか説明不足を感じる。気概、活気が無く会場も暗い。もっと分かりやすい議事運営であってほしい。元氣な寄居町を作っていくのは、やはり町民の声。もっともっと傍聴に参加しましょう。

松浦奈々江

県内70市町村の情報公開度ランキングが発表されていました。(埼玉市民オンブズマン・ネットワーク調べ)35満点中5市町が35点。反面10点にも満たない自治体も。我が寄居町は21点。まだまだ改善の余地大です。参考までにランキングを転載します。

朝日新聞 10月20日朝刊より



◆9月町議会一般質問議員と内容

	佐藤理美	田母神節子	本間登志子	石井康二	佐野千賀子
福祉・健康・育児	父子家庭対策			特定健診・健康増進施設・ワクチン確保	
教育・学校					
環境	エコキャップ回収運動推進	ゴミ分別/減量化			寄居保育所の芝生化と植樹
観光・産業・地域経済			祭りのあり方		
道路・交通・上下水道					
救急・防災・防犯					
交流・市民活動・自治・人権		施設使用料有料の見直し			文化芸術交流施設建設
上記以外の生活と暮らし					
行政・政策・議会		職員数の不足			
その他		補助金カットの復活			

情報公開ランキング

■県と市町村の情報公開度の合計点

自治体名	点数	自治体名	点数
飯能市	21	坂戸市	35
蕨市	21	志木市	35
寄居町	21	東松山市	35
鳩ヶ谷市	20	鳩山町	35
鳩ヶ谷市	20	美里町	35
入間市	19	嵐山町	33
桶川市	19	春日部市	31
新座市	19	久喜市	31
ふじみ野市	19	草加市	31
吉川市	19	本庄市	29
和光市	19	吉見町	29
伊奈町	19	県	28
菖蒲町	19	鶴ヶ島市	28
長瀨町	19	横瀬町	28
鷲宮町	19	戸田市	27
越谷市	18	小川町	27
上尾市	17	神川町	27
鴻巣市	17	上里町	27
日高市	17	松伏町	27
富士見市	17	宮代町	27
富士見市	17	加須市	25
大和町	17	秩父市	25
皆野町	17	栗橋町	25
越生町	16	滑川町	24
白岡町	16	三芳町	24
毛呂山町	16	行田市	23
北川辺町	15	幸手市	23
川越市	14	狭山市	23
蓮田市	14	朝霞市	22
熊谷市	13	所沢市	22
羽生市	12	深谷市	22
杉戸町	12	川島町	22
東秩父村	12	ときがわ町	22
八潮市	11	北本市	21
川口市	9	さいたま市	21
小鹿野町	8		
三郷市	7		
騎西町	7		

※埼玉市民オンブズマン・ネットワーク調べ

開かれた議会へ!

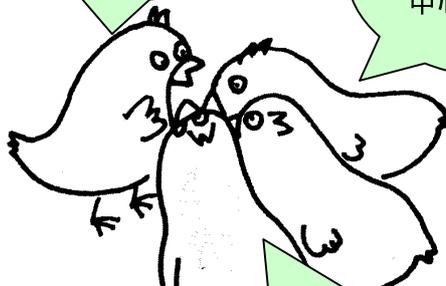
みんなで関心を持って
声をあげよう!!



再現! 民意を無視した6月議会劇場

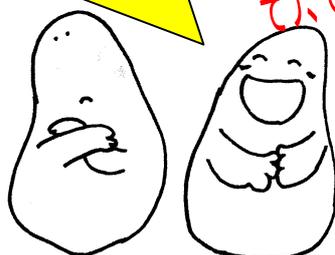
ねえ 覚えてる
6月の議会で
全員が賛成して採択した
請願のこと

ええ、知ってるわよ
精神障害者家族会が
中心になって...



ネットも協力したわよね
議会便りに大きく載ってたわ
通信7月号でも紹介して
みんな やったって、喜んだよね

そ、そ、よか

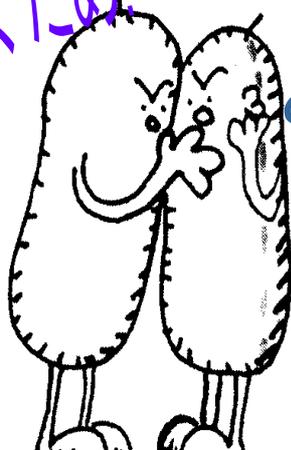


覚えてるわ
来年3月で廃止になる
熊谷保健所寄居分室を
有効活用しようという請願でしょ

それが、だめ!

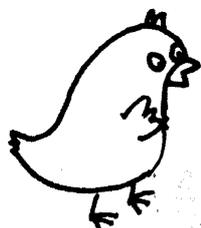
えっ!!
どうして?

本議会で採択されたのよ
全員賛成で



そんなこと
ありなの

後で請願に反対の議員が出て
結局、請願趣旨にそうすることができない
ということになっちゃった



議会の中に
議員全員協議会っていう
議員の打ち合わせみたいな
会議があるんだって

本議会で採択された今回の請願は
議員全員協議会"全協"で再度協議された。そこで反対議員が出た
本会議での全員賛成の「意思」と
未公開の全協での「意志」が食い違いを見せた
結果、議会は請願の趣旨に答えることができなかった
本会議での審議と全員賛成は何だったのか

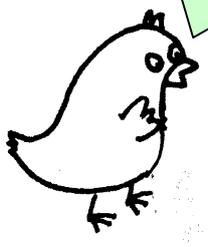
十二、それ全協って十二!!

表の本議会で全員賛成して
採択の後で裏の会議で
反対意見を出す
そんなの絶対ヘンよ

議会が二重構造みたい
21世紀よ
民主主義の国よ



非公開だから
知られていないの

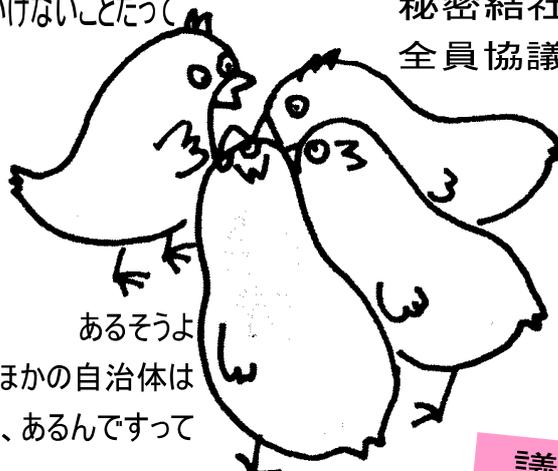


議会の役割りって十二!

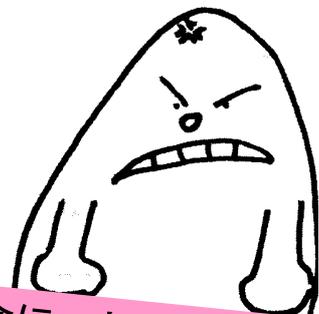
議会は請願を
どうみているのかしら
民意が届かない議会って何なの

ある専門機関に尋ねたらね
そんなことありえない事例だって
議会運営にあってはいけないことだって

ほかの町なんかでもあるの
秘密結社みたいな
全員協議会って

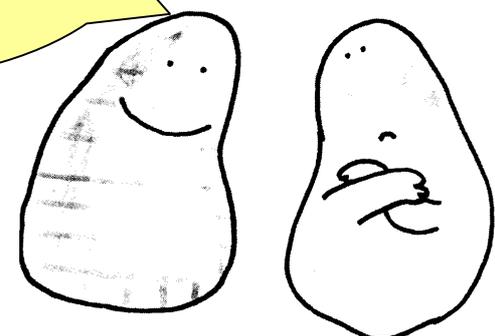


あるそうよ
でもほかの自治体は
公開しているところ、あるんですって



議会に、大声で言うべきよね
全員協議会の
一般傍聴できるようになって

私たちが選んだ
議員が職場でどんな仕事をしているのか
もっともっと
関心を持ちましょうよ



そうよ、そうよね
声、あげよう!



まちネットでは町議会へ下記の要望書を提出しました

寄居町議会議長 原口 孝 様

2009 年11月 17 日

要 望 書

2009 年6月議会へ請願された「平成 21 年度で廃止になる、熊谷保健所寄居分室を(1)市街地公民館、(2)障害者交流センターとして利用することについて」は、約 7000 名もの署名を以って提出され、本会議にて全員賛成で採択されました。

このことは 8 月の議会便りでも広く町民に知らされました。請願署名に積極的に支援協力した団体として、寄居議会での判断を大いに評価し、請願団体の方々と喜びを分かち合いました。

ところがその後、議員全員協議会において採択された請願に対し反対意見が出されたと聞きました。また採択結果を遂行する議長声明も出せない、紹介議員も降りるといった発言も出てきたということに私達は驚きの声を隠せません。請願、陳情は、わたしたち町民にとって、直接議会へお願いする大変重要な手段と言えます。その請願がこのような扱いをされてしまったことに強い衝撃と、憤りを受けました。

これは議会での一議不再議のルールを無視したことといえます。私たちは、議員の方々が町民の代表として民意を反映し、町民の立場に立った町政に取り組んでくださることを切に願っています。今後、このような不適切な行為の無いよう熱望いたします。また、さらに開かれた議会となるよう、下記の 4 点を要望いたします。

1. 議会内の各委員会を委員長の許可が無くても、一般町民に傍聴、公開できるようにしてください。
2. 議員全員協議会を一般町民の傍聴ができるようにしてください。
3. 請願、陳情に関してその代表団体が希望する場合は、付託された委員会および本会議にて趣旨説明ができるようにしてください。
4. 請願の採択内容に関する町の執行状況について、議会だより等により住民に報告をしてください。

以上の 4 点を要望いたします。

まちネットワークよりい 代表 大北秀子

上記要望書に対する回答を3月議会までに回答を下記にお送り下さる様お願いいたします。

information

お 知 ら せ

ダンボールコンポストの基材をお分けします

単品で購入すると高くなるピートモスと籾殻くん炭をすぐ使用できるよう、3対2で混合したものを袋詰めしてあります。1袋500円でお分けしています。常時ありますのでお声掛けしてください。



鍋帽子つくり講習会

- 期日 12月3日(木)
- 会場 寄居町中央公民館 美術室
- 時間 10時30分~12時
- 受講料 400~500円(人数で変わります)
- 講師 熊谷友の会 西川さん

中国楽器と箏・ピアノの演奏会

日時：11月28日(土) pm1:30~3:30

場所：オリーブ東松山市材木町16-24 0493-59-8551

演奏：王明君 及川夕美 菅野充子

参加費：500円(7~お菓子付)

問合せ・申込みは大北まで

☎/FAX 582-4073

編集後記

2009 年も残すところ 1 ヶ月半。ネットの今年度計画は、少ない人数で等身大の動きを作りながら何とか進んでいます。11 月に議会へ要望書を提出しました。急激な変化は望めませんが、まずは身近な寄居町議会の改革を町民が声を上げることで進めていきましょう。

政権交代というかつてなかった大きな転換が今後どのように作用していけるか、お任せではなく私たちの手で、生活者の視点で私たちの望む社会のあり方を働きかけていかなければと思います。